

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論 I	NSF12_005	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病の特徴、治療法を理解し、臨床で活用できる知識として身につけることを目標とする。本講義では、臨床的に重要な循環器系、呼吸器系、消化器系疾患について、主要な疾患の理解を深めるとともに、基本的な疾患に対する考え方、診察及び診断法、治療法について学習する。また、解剖・生理に関しても復習しながら学習を進める。本講義は、Teams等のメディアを活用し、授業中にフィードバックや意見交換を行い、看護に必要な疾病と治療について理解を深める。				
学習上の助言	解剖学及び生理学的な知識・考え方を常に念頭に置いて予習復習を行うことで、より効率的に学習できます。教科書を熟読してから講義に臨むと理解度が深まります。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;2&gt; 第15版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;3&gt; 第15版 循環器(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>・専門分野(2)成人看護学&lt;5&gt; 第15版 消化器(系統看護学講座)/医学書院</li> </ul>				[3冊指定]
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床病態学/総編・北村 聖 他/ヌーヴェルヒロカワ</li> <li>・ハリソン内科学/メディカル・サイエンス・インターナショナル</li> </ul>				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	主な呼吸器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる		HSU(1)～(3)		
②	主な循環器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる		HSU(1)～(3)		
③	主な消化器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる		HSU(1)～(3)		
④	呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患の画像診断について説明することができる		HSU(1)～(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	疾病治療論総論	同時双方向型授業	疾病治療論を学ぶ意義について学習する。次回の講義範囲を予習する。		1
2	消化器系疾患(1)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
3	消化器系疾患(2)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
4	消化器系疾患(3)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
5	消化器系疾患(4)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
6	消化器系疾患(5)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
7	呼吸器系疾患(1)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
8	呼吸器系疾患(2)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
9	呼吸器系疾患(3)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
10	呼吸器系疾患(4)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
11	循環器系疾患(1)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
12	循環器系疾患(2)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
13	循環器系疾患(3)	同時双方向型授業	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		1
14	循環器系疾患(4)	同時双方向型授業	テキスト全般を復習する		1
15	これまでの学習の総括	同時双方向型授業	講義の内容全般を復習する。		1
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
Twamsを使った同時双方向授業を行います。授業時は、通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。新型コロナウイルス感染症のまん延状況などの社会情勢によって、シラバスは再度変更される可能性があります。							